

令和7年度 新篠津村立新篠津中学校 グランドデザイン

関係法令等
 日本国憲法
 学校教育法
 学習指導要領
 北海道教育推進計画
 石狩管内教育推進の重点
 新篠津村教育基本計画

学校教育目標
 (知) 真理を探究する人 : 課題を解決する力を身につけよう
 (情) 友情を大切にする人 : 他者を尊重し、助け合う仲間となろう
 (意) 創造し実践する人 : 自らの感性・視点を大切に、
 考え・判断し、行動できる人になろう
 (体) 健康で明朗な人 : 生命を大切にし、
 心身とも健やかな人になろう

児童の実態
 学校・地域の実態
 教職員の願い
 保護者の願い
 地域の願い

めざす学校の姿
 子どもの姿で
 成長を実感し合える学校

めざす子どもの姿(スローガン)
 想いを言葉に 言葉を行動に
 行動を成長に

めざす教職員の姿(スローガン)
 言葉と行動で語り
 共感と寛容で支える

育成をめざす資質・能力	
知識・技能	○自立に向けて必要な知識・技能を身につける ○身につけた知識・技能を生かし、調整力を発揮して活用できる
思考力・判断力 ・表現力	○課題解決に向け、見通しをもって学ぶことができる ○自分の考えを形成し、伝え合うことができる
学びに向かう力 ・人間性等	○目標に向け粘り強く取り組むことができる ○学ぶ意義や価値を実感できる

重点目標
 「自分の考えを伝える力を磨き、他者と共に新たな価値を生み出す生徒」の育成

経営方針

方針 1 全教職員の参画と協働による、**組織マネジメントを機能**させた学校経営を定着させる
 方針 2 **エビデンスを基にした教育課程と教育活動の検証改善サイクル**を定着させる
 方針 3 個別最適と協働的な学びを推進する**研修の充実**を図る
 方針 4 資質・能力の育成を目指し、ICT活用と対話を重視した、**子どもが主体となる授業改革**を推進する
 方針 5 **生徒指導の四機能**を生かし、一人一人に寄り添った指導の充実を図る
 方針 6 子どもたちにより良い教育環境を提供するため、**地域や社会と目標を共有し、社会に開かれた教育課程**を通じて、**小中一貫体制と地域コミュニティづくり**を推進する学校づくりをめざす

重点方針1

◇授業改革と生徒指導の一体的な取組

- 生徒指導の四機能を生かした授業づくり
 - ・自己存在感を与える(一人一人を大切にしたい指導)
 - 3層への具体的な手立て、指導体制の工夫等
 - ・共感的な人間関係の育成、支持的風土の醸成
 - 対話のスタンダード6等
 - ・自己決定の場を与える(自己指導能力の向上)
 - 自分で考え、行動を選択し、実行する機会を与える
- カリマネの充実(エビデンスを基にした授業改善)
 - ・全教職員の参画のもと、各種調査結果を分析、定期的に生徒の実態把握・授業改善
 - ・**エビデンスを基にした小中の児童生徒の実態交流**
 - 研修の充実(授業力向上に向けた実践と検証)
 - ・生徒が主体的に他者の考えを把握・価値交換しながら、課題を解決できる生徒の育成、授業づくり
 - ・必要な場面でICTの適切な活用を図る

重点方針2

◇生徒指導体制の充実

- ・全教職員での支援体制の構築
- ・多面的・多角的な共感的理解
- ・柔軟かつ効果的な対応策を検討、実践
- ・学校全体の組織的な対応
- ・生徒会が主体となった集団生活の充実
- ・道徳教育の充実
- ・不登校・いじめ・自殺等の未然防止対策
- ・命を大切にする教育の充実(SOS出し方教育)
- ・初期対応の強化
- ・各種アンケートや教育相談、日常観察による迅速な対応
- ・いじめの積極的認知、早期段階での対応、経過観察を強化
- ・複雑化・多様化する課題に対応する外部機関との連携強化
- ・**引継ぎ、情報共有等、小学校との連携強化**



15歳の姿(村がめざす子ども像)
 ふるさとを愛し、夢や目標をいだいて、未来を切り拓こうとする、たくましい子ども